



わぁ、いるよ
めだかがいっぱい
《小倉北区 山田緑地》

六月定例会のあらまし

平成八年六月北九州市議会定例会が、六月十日から十七日までの八日間の会期で開かれました。

この定例会では、市長から二十一件の議案が提出され、審議の結果、すべて原案どおり可決しました。

また、議員から、十一件の議案が提出され、うち、九件を可決しました。

そのほか、請願・陳情二件が採択されました。

市議会議員の 虚礼廃止

公職選挙法では、次のようなことが禁止されています。

- 議員や後援会が寄附をしたり有料あいさつ広告を出すこと
- 議員や後援会がお中元やお歳暮をすること
- 市民や団体が議員に寄附などを求めること
- 議員が暑中見舞などのあいさつ状を出すこと

このほか市議会では、祝電、弔電の自粛を申し合わせています。

市民の皆様のご協力をお願いします。

事業者の野焼きを規制

公害防止条例の一部改正議案

などを可決



《仮称》多目的ドーム（メディアドーム）完成予想図

市長が提出した

議案

(主なもの)

専決処分の報告

- 個人市民税の均等割税率を年額二、五〇〇円から三、〇〇〇円に引き上げ
- 八年度分の個人市民税の特別減税を実施

条例の改正

- 長期譲渡所得にかかる個人市民税の税率を改正
- 市民福祉センターを新設
- 小森江西市民福祉センター・西小倉市民福祉センター
- 事業者による屋外での燃焼行為を規制

工事請負契約の締結

- 《仮称》多目的ドームの建設工事を二九億九、九九〇万円で契約
- 《仮称》松本清張記念館の建設工事を九億二、七〇〇万円で契約

和解

- レインボープラザ内のプール設置場所等の不法占有にかかる建物明け渡し等請求事件について和解

委託協定の締結

- 新北九州空港連絡道路の建設工事（八年度協定）を二億二、八九二万円で委託

議員が提出した

議案

(可決したもの)

- 北九州市東部農業委員会委員の推薦
- 北九州市西部農業委員会委員の推薦

- 北九州港の港湾整備に関する意見書
- 外航海運産業への国家支援措置を求める意見書

- 義務教育費国庫負担制度の堅持を求める意見書
- 公的介護保険制度の導入に関する意見書

- 水資源の確保及び有効利用に関する意見書
- 情報公開法の早期制定を求める意見書

- 市民活動の促進支援に関する法律の制定を求める決議

※意見書は、内閣総理大臣等に送付しました。

請願・陳情

(採択したもの)

請願

- 高齢者用住宅改造補助金制度の創設について

陳情

- 市議会の運営及び設備の改善について、のうち
 - ・説明用のパネルが傍聴席にも見えるようにするなど
 審査の内容が委員会傍聴者にもわかるように配慮する

会期日程

6月10日	本会議	●提出議案の説明 ●質疑、一般質問
11日	本会議	●一般質問
12日	本会議	●一般質問
13日	常任委員会	●議案の審査
14日	常任委員会	●議案、請願、陳情の審査及び採決
17日	本会議	●提出議案の説明 ●採決

現行定数を維持

市議会は、来年年明けの北九州市議会議員一般選挙における、議員定数及び各選挙区選出議員数を、現行どおりとすることを決定しました。

この問題について市議会では、平成4年9月から約3年にわたり市政運営特別委員会や会派代表者会議などで、調査検討を行ってきました。

今回の決定は、

①市民の代表機関である市議会は、重要な役割を担っており、総定数は法定どおりとする。

②本市は5市が対等合併し、現在の行政区は、旧市区域を基礎にしている。この歴史的背景を踏まえ、各行政区の均衡を図る必要がある。

③投票価値の格差に配慮する。(1.5倍以内とする)などの考えによるものです。

市議会議員選挙

選挙区別選出数

選挙区	議員定数
門司	8
小倉北	13
小倉南	11
若松	6
八幡東	6
八幡西	15
戸畑	5
計	64

出た！お湯が

実現待たれる河内温泉郷

温泉の掘削作業を続けていた八幡東区の河内で、6月6日、待望の温泉が湧出しました。

これを受けて、議員から、河内温泉郷構想への取り組みについて質問がありました。

市長は、「温泉の温度は29度で、1分間の湯量は420ℓ程度です。成分分析の結果は、1カ月後に出る予定です。

河内温泉郷を、市民の総合的な健康づくりの場、レクリエーションの場として整備するため、今年度内に基本計画を策定したい」と答えました。



湧出している温泉（八幡東区）

質問と答弁

本会議で、12人の議員が、議案や市政全般について、質問を行いました

その中から、いくつかを取りあげました。



乳幼児医療・重度障害者医療

所得制限の導入に

市民の理解は？

議員 市長は、二月定例会で、七月から予定している乳幼児医療制度等に所得制限を導入するにあたり、市民の理解が得られるよう努力すると答弁しました。

その後、出前講演などを通じて所得制限について説明を実施したということですが、その成果と今後の見通しについてお尋ねします。

市長 所得制限の対象となる重度障害者の方への個別説

明や出前講演などを実施し、趣旨について、その約九割の方のご理解を得ました。

また、この問題を集めた市政だよりをご覧になった方々からも、理解を示すはがきが寄せられました。

野焼きを規制

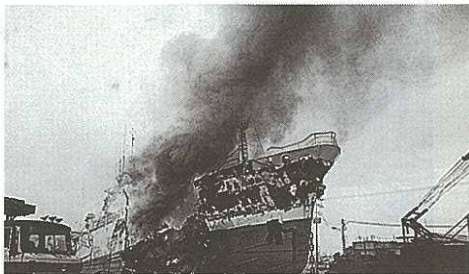
市民の健康と

生活環境を守ります

議員 今定例会で野焼きを規制するための公害防止条例の改正案が提案されています。この条例の施行により、事業者は焼却施設を設置するなどの対応が必要となりますが、関係中小零細事業者への支援はどのように考えていますか。

環境局長 今回の改正は、繰り返されている事業者の屋外燃焼行為（野焼き）を規制し、市民の健康と生活環境を守るためのものです。

改正にあたり、野焼きの苦情の申し立てがあつてはいる事業者の大半が中小零細企業であることを配慮して、この条例の施行には公布後一年間の猶予を設けています。



船の焼却（若松区）

また、費用のあまりかからない処理方法の指導や、市公害防止資金融資制度の紹介も行っていきたくと考えています。

したがって、大半の方々にについては理解が深まっているのではないかと考えています。

また、出前講演等を通して、保健福祉施策を進めるにあたっては、財源問題は避けて通れないということが、市民に理解されてきたという感触を得ているところです。

このため、予定どおり七月から所得制限を実施したいと考えていますが、それまでの間も、引き続きPRを続けていく考えです。

便利になります

住民票の異動届を

1カ所でOK!

市内の他の区へ転居する場合、転出届は元の住所の区役所に、転入届は、新住所地の区役所に出さなければなりません。

これについて議員から、届出の手続きを1カ所でできないかとの提案がありました。

市民局長は、「市民負担の軽減、利便性のアップといった観点から検討してきた結果、2つの異動届を転入区のみで処理できるとの結論を得ました。できるだけ早く実施できるように、住民基本台帳システムを変更するための準備に取りかかりたい」と答えました。



水道行政

水質のデータ公表

今後もしっかり

議員 六年度の「水質試験年次報告書」で、基準値を超えるトリハロメタンのデータが削除されていることが判明しました。

これは、水道行政にとどまらず、市政に対する市民の信頼を損ないかねない重大な問題です。二度とこのようなことがあつてはならないと思いますが、市の考えをお聞かせください。

水道局長 この物質が基準

値を超えて検出されたことは事実ですが、この超過は一過性のものでした。厚生省の通知により、長期的な検査結果から総合的に判断することとされていることや、市民に不安と混乱を与えるなどの判断から、このような結果になりました。

今後は、水質状況を積極的に公表し、二度とこのようなことがないようにしたいと思います。

商店街の防火防止対策

火災に強い

まちづくりへ

議員 最近、木造建物が密集する商店街・繁華街で大規模な火災が相次いでいます。

市内には、このような消火活動が困難な市場・商店街が数多くみられますが、市の出火防止対策についてお尋ねします。

消防局長 現在、緊急対策

としてアーケードの特別査察、自衛消防隊の活動状況調査、出火防止講習などを実施して

いますが、一部地域において防火の協力体制や自主的な消防訓練が不十分なところがみ

られます。今後は、定期的な講習会や訓練を通じ、地域の協力体制を高め、自主的な消防訓練が活発に行われるよう働きかけていきたいと思います。

また、消火活動に大変有効な水圧開錠シャッターの普及にも努めたいと思います。

経済局長 商店街の再建にあたっては、防災や魅力的なまちづくりの観点から、店舗の共同化などに対し、最大限支援していく考えです。

被災者に対しては、一般事業資金融資を行っていますが、新たに災害復旧資金制度を設けることも検討しています。



ひとり暮らしの高齢者

もっと広げて！

市営住宅の入居枠

議員 近年、高齢化の進展などを背景に、市営住宅に入居を希望するひとり暮らしの高齢者が増加しています。

市営住宅の入居条件を緩和したり、募集枠を増やすなど

の対応が必要と思いますがいかがですか。

建築局長 市営住宅の建て替えや新築の際、一階部分を高齢者向けに整備し、また単身者向け住宅の確保にも努めています。

最近、単身の高齢者の入居申し込みが増え、応募倍率も高くなっています。

今後、状況を見ながら、単身の高齢者入居枠の拡大を検討していきたいと思えます。

また、今年度から、既設の市営住宅の一部を高齢者向けに改造する「すこやか改善事業」を開始することにしています。



防災対策

大震災を教訓に

地域防災計画の見直し

議員 今年三月に、市の地域防災計画が見直されたとのことですが、その内容をお聞かせください。

消防局長 市は、阪神・淡路大震災を教訓として、防災対策の充実に努めています。

この計画には、新たに五十八の対策を盛り込みました。主なものとして、

- ① 初動体制充実のため、震度5の地震が発生した時は、約二千人の市職員が市庁舎や区役所などに集合する。
- ② 衛星通信を使った早期応援体制を確立する。
- ③ 救護の必要な高齢者や障害者などを事前に把握し、安否を確認する。

などに、実施できるものから改善に着手しています。

来夏オープン？

サッポロビールビール園



この4月、サッポロビールは、メモリアル施設を整備し、また、現工場内にビール園を開設したいとの意向を明らかにしました。

議員から、ビール園実現の見直しについて質問を受けた市長は、「今回、愛飲運動のおかげで、現在の結論を得ることができました。このような市民運動は、企業に好感を持たれ、市内企業の定着や、市外企業の誘致に大変有効という印象を受けました。ビール園の規模やスケジュールは未定ですが、来年夏の実現に向けて、サッポロビール側と協議していきたい」と答えました。



サッポロビール九州工場 (門司区)

企業で先生が研修



本市は、今年度から政令指定都市で初めて、学校の教員を企業に長期派遣する体験研修に取り組んでいます。

この実施状況について、議員から質問がありました。

教育長は、「この事業は、教員が社会の構成員としての視野を広げることが重要であるとの視点から、実施するものです。すでに富士通やスペースワールド、安川情報システムなどに派遣していますが、民間企業の雰囲気を感じ、大変勉強になっているとの報告を受けています。この体験が学校教育の場に生かされることが大切です」と答えました。

□本紙は再生紙を使用しています。

□全世帯配布 □印刷 株式会社

ゼンリンプリンテックス (門司区)

□9630001F